



P T A 会 報

第65号

新潟産業大学
附属高等学校
PTA係発行

柏崎市安田
TEL 24-6644

統一祭では各学年がモザイクアートを作成しました。写真は三学年の作品「富士急ハイランド」です。修学旅行を思い出しながら作成しました。

ごあいさつ

PTA会長
松永克彦



皆様こんにちは、改めまして令和三年度PTA会長を仰せつかっております

松永です。日頃よりPTA会員の皆様には、日頃より本校のPTA諸活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度も新型コロナウイルスの影響により様々な予定していた活動に制限が加わり、開催を断念せざるを得ない状況に無念さを感じております。具体的には九月の統一祭での牛串焼き・サイコロステーキのバザーブースの出店取り止め、十一月の芸術鑑賞会の開催断念とコロナ禍ではありましたが最後まで検討を重ねた結果苦渋の決断をいたしました。しかしながらPTAとして「何かできないか?」「どうしたらできるのか?」と模索し知恵を絞った時間には一定の成果があったとも感じています。改善の兆しが見える昨今、来年度は各種行事が滞りなく行われることを切に願うばかりです。

さて、ここからは先日行われた柏崎地区高等学校PTA連合会の研修会と柏崎刈羽青少年健全育成大集会の内容について

触れさせていただきます。

まず地区高P連研修会においては、県教育委員会の関口室長より「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防について」と題してご講話いただきました。特にスマートホンやSNSを介した現代の課題及び子どものOSに気付きのためのポイントの整理を学ぶよい機会となりました。今後学校現場・家庭で広く横展開されることを願ってやみません。

次に健全育成大集会では「子どもたちのこれからを見据えいま必要なICT教育を学びましょう」と題して一昨年から柏崎刈羽の小中学校でスタートしたGIGAスクール構想のタブレット端末を使用した模擬授業を体験しました。未来の高校生が実際受けている授業や宿題での活用と幅広く活用されていることに関心いたしました。ただ前記のいじめ問題等インターネット全盛下での利便性と裏腹の課題も同時に存在することはかい否めないとも感じました。会の最後には宣言が採択され地域一体となった取り組みが進められることが確認されました。

今年度の残すところ三ヶ月余りとなりました。スケジュールデントファーストで残りの期間全うして参ります。皆様方のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

ともにごんばりましょう!!



今日の教育が未来を築く

教頭 高倉 聡

皆様には、日ごろ当校の教育活動に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

コロナ禍に翻弄される中ではありますが、松永克彦PTA会長を中心とした役員体制のもとに会員の皆様の御協力により、充実したPTA活動が展開されております。特に十月の「朝の挨拶運動」は、前年度は実施できませんでしたが、今年はコロナ対策を行って実施することが出来ました。ありがとうございました。

さて、今の子ども達を取り巻く環境は保護者の皆様の世代の子ども時代とは大きく異なります。彼らは、物心が付く

頃からスマホが身近にあった世

代であり、知識を得るのに最も恵まれた世代であると言われるています。課題や困難に直面したときも、ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)を活用し容易に解決策を見つけ出し行動に移すことが出来る時代に生きる世代なのです。

このような時代を生き抜くために必要な力とは、何でしょうか。

一つは新しい技術を使いこなすために必要な基礎的な読解力です。マニュアルや契約書などの意味や意図を的確に読み取るような力です。この基礎力の部分については、学校などで知

識の習得を図り、成長を促す必要があります。

そしてもう一つ、この時代に必要な力は、目標達成に向けて自らのモチベーションを高める力です。意欲を持ち、自分の能力を最大限に発揮する力です。

ところで、どんな時代にも若者達の目を見張るような活躍があります。そんな活躍をするための一つの要件は、その時代の新しい流れを上手くつかむことです。

最近では将棋の藤井聡太さんが竜王、王位、叡王、棋聖の四冠を達成し、さらに王将戦の挑戦権を獲得し史上初の十代での五冠達成に挑もうとしています。彼自身が素晴らしい才能を持ち、目標達成に向けての高いモチベーションを持っていることはもちろんですが、AIを将棋の分析や研究にうまく活用しているからこそ、この

偉業を成し遂げられているのも事実です。

高いモチベーションを持ち、AIやICTを上手く使いこなすことがこれからの社会で活躍するための要件なのです。

さて、私達大人は子ども達の「明るい未来」や「豊かな未来」を願っております。そして、子ども達の未来を築くのは、子ども達が未来に向かって果立つ前に、ぜひ伝えようではありませんか。大人に近づいた今だからこそ、これからの時代を生き抜くモチベーションを高めるために伝えておくべきことがあると
考えて居ります。



PTA活動報告

二期期のPTA活動について

八月末にPTA役員の方々にお集まりいただき、二期期のPTA活動における運営会議開かせていただきました。残念ながら昨年同様、九月の「統一祭バザー」、十一月の「PTA講演会」はご連絡の通り中止とさせていただきます。

十月七日(木)、八日(金)の朝のあいさつ運動は、両日とも校門前で延べ十七名の方からご参加いただきました。お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。感想としては、「春に比べると元気がなくなつたように感じるが、目を見て挨拶してくれる生徒、顔を上げて挨拶をしてくれる生徒が多くてうれしかった。」

「道に広がって歩いたり、歩きスマホ・歩き勉強をしたりしている生徒がいて危険」という声がありました。このご意見については、今後の生徒指導に反映させていきたいと思

十一月二十二日(月)には、市内の高等学校PTA研修会が柏崎産業文化会館で行われ、県教育委員会のいじめ対策室の関口様から、教育機関が行っている取り組みをお話しいただき、基調講演では、『アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)について』の演題で、多様性を認め合う社会実現に向けて私たちが考えなければならぬことについて、新潟産業大学の大石教授よりご講演いただきました。その他、柏崎常盤高校のPTA活動についての報告や、講演会、各高校の情報交換などを行いました。

同じく十一月の二十七日(土)には、柏崎市小中学校PTA連合会主催の青少年健全育成大会が市民プラザで行われました。中学生の「わたしの主張」県大会最優秀賞受賞者の発表や、柏崎市内小中学校のICT教育の現状についての実践発表がありました。最後には、本校PTA会長松永様による青少年健全育成大会宣言が行われました。

三期期に向けて、二年生は十一月十九日(金)に「修学

旅行保護者会説明会」、三年生は十二月十日(金)にPTA委員会を開催させていただきました。それぞれの学年で計画されている行事が、無事に開催されることを願うばかりです。

統一祭を振り返って

三年一組 西村 駿杜

今年の統一祭は昨年同様新型コロナウイルス感染症の影響で様々な制限が設けられた中での開催でした。私は総務委員だったのでクラスの出し物を中心となって考え、新型コロナウイルス感染症防止できるよう三密を避け、換気を徹底できる企画を考えました。私たちのクラスでは、VR体験の企画を行いました。修学旅行で行った富士急ハイランドのアトラクションや綱渡りを体験してもらいました。多くの人に楽しんでもらえて本当に良かったです。

また、他のクラスや学年では、体育館でボールを使った

企画や、お化け屋敷など、さまざまな工夫を凝らした企画があり、とても楽しかったです。他にもカラオケ大会やビンゴ大会、モザイクアートなどの全校生徒が楽しめるような企画があったので、コロナ禍でも楽しむことができたと思います。高校生活最後の行事がたくさんの方々の御協力のもとで開催できたことに心から感謝しています。

三年二組 小林 涼

私は、統一祭を行うことに反対の意見でした。新型コロナウイルス感染症対策防止のために、できることも限られてしまい、例年行われているバザーなどもできないため全力で楽しむことができないと思つたからです。

しかし、実際に企画をしてみると、三密を避けたり、消毒作業などの感染症対策を徹底することで限られた中でも楽しめる企画ができました。私たちのクラスでは、VRを使ったお化け屋敷、人と人が触れないようにする気配切り

を行いました。想像よりも評判がよく周りの生徒に楽しんでもらうことができました。

実際にやってみて、皆で協力して準備から片付けまでを頑張ることでクラスの絆も深まったと感じました。他のクラスの出し物も、例年がない、体験型のもが多く楽しめました。特に、モルックが楽しかったです。

高校生活最後の統一祭で、最初は不安ばかりでしたが、その気持ちを忘れるくらい最高に楽しく、充実した行事となりました。

三年三組 村山 廉太郎

今年の統一祭はコロナ禍で様々な部分に制約があった中で開催となりました。

まず、このような状況下でも細かなところに配慮をしてコロナの感染防止対策に努めて下さった先生方には感謝したいです。何事もなく例年に近い形で統一祭が行えたのは、先生方の協力があったからこそのものであったと、改めて感じることができました。

今回は当日に雨が降るとい

う予報でもあったため、早々に屋内での開催が知らされました。生徒が楽しみにしていた統一祭で、一人一人にやりたいことや、やってみようと思いがあったのだらうと思います。コロナだけでなく雨という条件も加わったことでもまず制限がかかってしまいました。

実際に私たち三年三組が当初屋外で行うはずだった企画は行うことができなくなり、新たに企画を考える中で、自分たちが楽しむことはもちろんですが、他学年や他クラスの人たちに満足してもらおうことを第一に考えました。おそらくどのクラスも同じような状況だったと思います。結果的には最初から最後まで完璧だったかと言われるれば物足りない部分も正直ありました。統一祭を行う中での過程で仲間との協調性であったり、相手のことも考えるという人間性を高められたりしたことが統一祭を通して得たことであり、一生の財産だったと私は考えます。

今年の統一祭では良い経験が多くできましたが、ベストではなかったと思います。

一・二年生には来年以降、今回よりも自由に伸び伸びと学校行事をしてほしいので、一日でも早いコロナ終息を願って、引き続き感染予防に努めていきたいです。

三年四組 清水 あかり

三年四組のクラス企画として「コドモの館（お化け屋敷）」を行いました。このコロナ禍で暗闇、密室で行うお化け屋敷はあまり良いイメージを持たない人が多いと思います。準備する中で、初めはお化け屋敷をすることは難しいと言われ、許可がおりず、断念することを考えましたが、どうにかしてお化け屋敷をすることはできないかと試行錯誤を繰り返して許可がおりるまで挑戦してみました。

三年四組では、感染症対策を十分にとった新感覚なお化け屋敷を考えました。室内は空気が常に循環していて明るくても、メガネを使って視界を暗くするなど対策をし、今までにない新しい形でお化け屋敷を楽しんでもらいました。その結果、コロナ禍でも思

出に残る楽しい統一祭を行うことができました。

前日準備、会場作りや片付けなどを通してクラス全員で協力して運営することができました。そして、高校生活最後の行事を全力で楽しめたことは何よりも思い出に残っています。



生徒会より

今年度は昨年度同様、制限をかけられた中での活動となりました。体育祭では密を回避しながら行える競技を考え、統一祭ではバザーを中止するなどコロナに感染しないように知恵を絞ることが多くありました。しかし、そのような状況でも行事を開催できました。感謝の気持ちをお忘れずにできることを最大限に行いました。

六月の体育祭は、さまざまな規制がある中で行われました。陸上競技場の工事の影響、そして天候の悪化の影響で校内での開催となりました。コロナウイルス対策として、競技の観戦・ブロックアピールの鑑賞はリモートで行いました。また、競技は競技数の減少と一人あたりの出場回数減少の影響で学年ごとに行う形となりました。天候の悪化を受けて、思うように活動が出来なくたくさん悩みまし

たが、今までに行ったことのない競技を取り入れて多くの生徒に楽しんでもらえるよう努めました。生徒会による実践しながらの説明を行ったことで理解も深め、競技を終えることができました。新型コロナウイルス感染症の対策をしつかりと行い、天候の変化にも素早い対応を行ったことで、多くの生徒に楽しんでもらうことができました。

九月に行われた統一祭では、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で様々な制限を設けて行いました。チケットを作り各会場に入れる人数を制限したり、マスクの着用、手指消毒の徹底、開閉会式を三カ所に分けて密をさけたりするなどの配慮をしました。

また各クラスの出し物は、バザーなどの食べ物を出さず、一年生は縁日をテーマに射的や的あてなどを行いました。二年生はオリンピッククをテーマに、バスケットボールや野球でポイントを稼ぐゲームを

行いました。三年生はお化け屋敷や逃走中、VRを使った富士急のジェットコースター体験など、各クラス個性あふれる楽しい出し物を企画し行いました。全校企画では折り紙でもみじやイチョウを作り、そのもみじやイチョウを統一祭のスローガンを書いた画用紙に張り、紅葉アートを作成しました。赤や黄色、緑、オレンジといった色を使い色鮮やかに作成することができました。新型コロナウイルスの影響で様々な制限がある中でしたが、開催できるか危ぶまれた状況で最大限楽しむことができたと思います。

今年度はSDGsの取り組みを初めて行いました。SDGsには十七個の目標があり、その中の一つである「海の豊かさを守ろう」の取り組みとして海岸清掃を学年ごとに行いました。また、二・三年生は新潟産業大学の学生と一緒に行いました。この取り組みを通して、全校生徒の環境に

対する意識や考え方が変わり、SDGsの知識も深めることができ、良い活動ができたのではないかと思います。

最後に今年度は新型コロナウイルスの影響で例年とは違う一年でした。その中でも知恵を振り絞ってより良い学校づくりをすることができました。全校生徒の皆さん、先生方のおかげで充実した生徒会活動を行うことができました。次年度もコロナ禍が続くと思いますが引き続きコロナ対策を行ってほしいです。一年間ありがとうございました。



部活動報告

■男子バスケットボール部

ウインターカップ2021新潟県予選会1次ラウンド
 【1回戦】新潟産大附 89-66 敬和学園
 【2回戦】新潟産大附 83-77 新潟明訓
 【3回戦】新潟産大附 69-51 高田
 ウインターカップ2021新潟県予選会2次ラウンド
 【1回戦】新潟産大附 53-79 長岡高专

新潟県高校秋季上越・佐渡地区大会ベスト3
 【1回戦】新潟産大附 70-60 上越
 【2回戦】新潟産大附 63-101 上越総合技術

■女子バスケットボール部

ウインターカップ2021新潟県予選会2次ラウンドベスト8
 【2回戦】新潟産大附 86-61 新潟清心女子
 【3回戦】新潟産大附 75-82 北越

新潟県高校秋季上越・佐渡地区大会準優勝
 【1回戦】新潟産大附 99-32 佐渡中等
 【2回戦】新潟産大附 106-34 佐渡総合
 【決勝リーグ1回戦】新潟産大附 78-42 高田北城
 【決勝リーグ2回戦】新潟産大附 82-47 関根学園
 【決勝リーグ3回戦】新潟産大附 56-57 佐渡

■水泳部

【競泳】
 北信越高等学校体育大会
 【予選】
 藤巻 遼哉 (3-4)
 男子100mバタフライ 14位
 【決勝】
 植木 優陽 (3-1)
 男子400m自由形 1位 4:04.86 IH出場
 男子400m個人メドレー 3位 4:33.80 入賞
 佐藤 柗生 (3-3)
 男子100m平泳ぎ 7位 1:05.97 入賞
 男子200m平泳ぎ 9位 2:26.02

全国高等学校総合体育大会
 【予選】
 植木 優陽 (3-1)
 男子400m自由形 40位 4:06.03



【水球】

令和3年度全国高校総合体育大会 男子ベスト8
 【1回戦】新潟産大附 27-2 長野東
 【2回戦】新潟産大附 11-6 山形工業
 【3回戦】新潟産大附 11-15 鳥羽

■卓球部

北信越総体
 「男子学校対抗」
 ベスト8
 「女子学校対抗」
 初戦敗退
 「男子シングルス」
 ベスト16 佐山 寛大 (3-4)
 ベスト16 荻原 塔矢 (1-2)
 2回戦進出 中島 瞳輝 (1-1)
 初戦敗退 風間 征也 (2-2)
 初戦敗退 松浦 脩準 (2-4)
 初戦敗退 望月 李亜夢 (2-4)
 「女子シングルス」
 2回戦進出 新沢 ほのか (3-2)
 「男子ダブルス」
 ベスト8 佐山・中島
 「女子ダブルス」
 2回戦進出 倉島 実生 (1-2)・小林 星来 (1-1)



インターハイ

「男子学校対抗」
 2回戦進出 (ベスト32)
 「男子ダブルス」
 3回戦進出 (ベスト32) 佐山 寛大 (3-4)・中島 瞳輝 (1-1)
 「男子シングルス」
 初戦敗退 佐山 寛大

秋季上越地区大会

「男子学校対抗」
 優勝 県選抜出場
 「女子学校対抗」
 優勝 県選抜出場
 「男子シングルス」
 1位 中島 瞳輝 (1-1) 県選抜出場
 2位 松浦 脩準 (2-4) ♫
 3位 片山 桂 (2-4) ♫
 3位 荻原 塔矢 (1-2) ♫
 5位 風間 征也 (2-2) ♫
 5位 望月 李亜夢 (2-4) ♫
 ベスト16 神林 輝 (2-1) ♫
 ベスト20 村山 魁斗 (1-1) ♫
 「女子シングルス」
 1位 倉島 実生 (1-2) 県選抜出場
 3位 廣川 桃羽 (2-2) ♫
 5位 佐藤 桃花 (2-4) ♫
 5位 小林 星来 (1-1) ♫
 5位 和田 咲穂 (1-3) ♫
 5位 和田 泉穂 (1-1) ♫
 2回戦進出 小玉 遥耶 (1-4)

県高校選抜卓球大会

<男子学校対抗>
 2位*北信越選抜大会出場
 <女子学校対抗>
 4位
 <男子シングルス>
 優勝 中島 瞳輝 (1-1)
 5位 片山 桂 (2-4)
 7位 荻原 塔矢 (1-2)
 9位 松浦 脩準 (2-4)
 11位 風間 征也 (2-2)
 ベスト32 望月 李亜夢 (2-4)
 ベスト32 神林 輝 (2-1)
 初戦敗退 村山 魁斗 (1-1)
 <女子シングルス>
 9位 倉島 実生 (1-2) *全国選抜大会出場
 12位 廣川 桃羽 (2-2)
 16位 小林 星来 (1-1)
 ベスト32 和田 泉穂 (1-1)
 ベスト32 佐藤 桃花 (2-4)
 2回戦進出 和田 咲穂 (1-3)

部活動報告

■陸上競技部

全国高等学校陸上競技選手権大会

【男子】

400m	木村 峻也 (2)	予選 48秒32
4×400mR	木村 (1) 木村 (2) 小山 (3) 木原 (3)	予選 3分22秒01
走高跳	杉田 大夢 (3)	予選 記録なし
棒高跳	岡村 迅 (2)	予選 4m70 自己新記録
円盤投	中野 翔太 (2)	予選 36m74
ハンマー投	宮崎 咲羽 (3)	予選 53m31 自己新記録

【女子】

100mH	松本 愛美 (3)	準決勝 14秒10
走高跳	細谷 志帆 (2)	予選 記録なし
三段跳	佐藤 七瀬 (3)	予選 11m13

北陸選手権

<男子>

200m 優勝	木村 峻也 (2)	21秒49
走高跳 6位	杉田 大夢 (3)	1m90
棒高跳 6位	岡村 迅 (2)	4m60

<女子>

4×100mR 4位	山田(2)-松本(3)-金子(3)-尾崎(3)	48秒87
棒高跳 3位	近藤 愛加 (2)	3m00
6位	支子かのん (2)	3m00
七種競技3位	松田 若葉 (1)	3760点

北信越新人陸上競技大会

<男子>

110mH 5位	櫻井 陽生 (2)	15秒25
4×100mR 6位	秋山(2)-本間(2)-木村(1)-櫻井(2)	42秒95
※予選: 秋山(2)-本間(2)-木村(1)-木村(2) 42秒19		
走高跳 6位	遠藤 琉維 (2)	1m85
棒高跳 2位	岡村 迅 (2)	4m30
八種競技5位	遠藤 琉維 (2)	4753点 PB

<女子>

走高跳 8位	細谷 志帆 (2)	1m55
棒高跳 5位	近藤 愛加 (2)	2m90

U18日本陸上競技大会

<男子>

100m 予選1組6着	木村 峻也 (2)	11秒01
-------------	-----------	-------

<女子>

100mH 予選3組4着	松本 愛美 (3)	14秒02
--------------	-----------	-------

新潟県高校駅伝競走大会

女子駅伝 7位



■ゴルフ部

第24回新潟県ジュニアゴルフ競技会

高校女子の部

優勝	目黒 宝
第3位	白倉 百音

高校男子の部

第3位	仲丸 陸大
-----	-------

2021年度関東ジュニアゴルフ選手権

関東ブロック予選<女子15歳~17歳の部>	5位タイ	目黒 宝
関東決勝競技出場		

2021年度関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会

関信越地区予選

<女子個人の部>

7位タイ	目黒 宝
------	------



■バドミントン部

秋季地区大会

男子ダブルス	根立宙人・伊藤熙	2回戦進出
男子シングルス	根立 宙人	3回戦進出
男子1年シングルス	本間 洸成	第3位
女子1年シングルス	吉川 杏奈	3回戦進出

■サッカー部

全国高校サッカー選手権大会新潟県大会

【2回戦】	新潟産大附	7-0	新津南
【3回戦】	新潟産大附	0-3	開志

新潟県高校秋季上越地区大会準優勝

【1回戦】	新潟産大附	13-0	津南中等
【2回戦】	新潟産大附	11-0	柏崎工業
【準決勝】	新潟産大附	3-0	高田
【決勝】	新潟産大附	0-4	上越



■野球部

<第103回全国高等学校野球選手権新潟大会>

【1回戦】	新潟産大附	6-0	小出高校
【2回戦】	新潟産大附	8-0	新潟商業高校 (7回C)
【3回戦】	新潟産大附	4-1	佐渡高校
【4回戦】	新潟産大附	12-2	新津工業高校
【準決勝】	新潟産大附	7-0	開志学園高校 (8回C)
【決勝】	新潟産大附	3-7	日本文理高校 準優勝

第145回北信越地区高等学校野球新潟県大会

【2回戦】	新潟産大附	7-3	三条
【3回戦】	新潟産大附	6-5	高田北城
【4回戦】	新潟産大附	0-12	日本文理

■ソフトテニス部

秋季地区大会

《男子ダブルス》

1位	古川 椋大・渡辺 康介
2位	加藤 颯人・山本 楓也
ベスト8	近藤 絢斗・砺波 央人
ベスト8	村山 瑛充・本多 世那

《男子シングルス》

1位	山本 楓也	2位	近藤 絢斗
ベスト8	村山 瑛充、加藤 颯人、古川 椋大		

県新人選抜大会

《男子ダブルス》

3位	加藤 颯人・山本 楓也
ベスト8	古川 椋大・渡辺 康介
ベスト16	近藤 絢斗・本多 世那

《男子シングルス》

ベスト8	山本 楓也
ベスト8	近藤 絢斗
ベスト8	古川 椋大



県選抜インドア一次予選

男子団体 ベスト8

■吹奏楽部

第62回新潟県吹奏楽コンクール 銀賞

第45回新潟県アンサンブルコンテスト 銀賞



一学期を振り返って

第一学年主任 佐藤 勲

新型コロナウイルス感染症予

防対策を行いながらの学校生活が続いていますが、保護者様の理解とご協力に感謝いたします。ワクチン接種が進み、社会全体でも少しずつ日常生活に戻りつつあります。

夏休みを終え、学校生活にも慣れ、様々な活動が活発になってきています。一学年全体としても落ち着いた学校生活を送り、学習と部活動の両立を目指して頑張っているところです。

九月初めには漢字検定の全員受験がありました。夏休み前から準備を始め、検定に臨みました。結果としては満足のいくものではなく、次年度の全員受験に向けても多くの

課題が浮き彫りになる形になりました。また統一祭もコ

ナ対策を徹底した中で行われ、各学年、各クラス共に工夫を凝らした素晴らしい文化祭になりました。一学年の企画と

しては、広島原爆ドームの風景をモザイクアートで作成しました。見栄えも良く非常に素晴らしい作品となりました。全員が協力し一学年の力が結

集した作品になりました。また、リモートでの開会式や閉会式を行い、コロナ禍ならではの文化祭を行うことができました。次年度には一般公開

ができるよう対策も取りながらできることを願っています。十月には中間考査が行われ、学習への意欲や、今後の自分

の進路についても考える機会となりました。日々の学習課題としてクラッシューの配信も継続して行っています。学習習慣の確立のためにも年間を通じて行っていきたいと思います。

進路実現に向けて、進路活動が始まっています。十二月には分野別の進路説明会が行われました。まずは様々な進路への知識を身につけ、自分に合った分野を見つけることが大切です。早い時期から準備をすることで二年後の進路実現の可能性を広げていきたいと思います。

あつという間に過ぎていく時間の中でも、学校生活を充実させ目標設定を明確にしてほしいと思います。

これから冬休みを迎えます。規則正しい生活習慣と学習時間の確保を継続できるようにご指導よろしくお願いいたします。三学期には模擬試験や検

定も控えています。学習と部活動を両立させ、より成長できるように指導していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



一学期を振り返って

第二学年主任 齊藤 実

例年であれば二学期は最大の行事である修学旅行が十二月に実施され、それに向けた取り組みがなされるはずでした。しかし、新型コロナウイルスの影響により、旅行が二月に延期となり、予定していた取り組みが思うようにできなかった学期となりました。

一学期同様様々な場面で制限があった中で、学校生活になりましたが、そのような状況下でも二学期中に取り組みることができたものを報告します。

一つ目は九月十日・十一日に行われた統一祭です。昨年同様コロナ対策のため飲食関連の出し物のない、展示や発表を主とした統一祭となりました。二学年はこの夏に開催された東京五輪に関連付けて

「産附2020」と銘打ち、スポーツを中心としたイベントを開催しました。また、夏休み前に行った海岸清掃で拾ってきた漂流物を使用して

「廃材アート」として展示しました。そして、学年生徒全員で、修学旅行で行くはずだった鹿児島島の「モザイクアート」を製作しました。

三密を避けるために会場に入る人数を制限したり、消毒を徹底したりと制約が多い中で、取り組みとなりましたが、生徒たちが最大限に工夫を凝らし、大成功に終わりました。

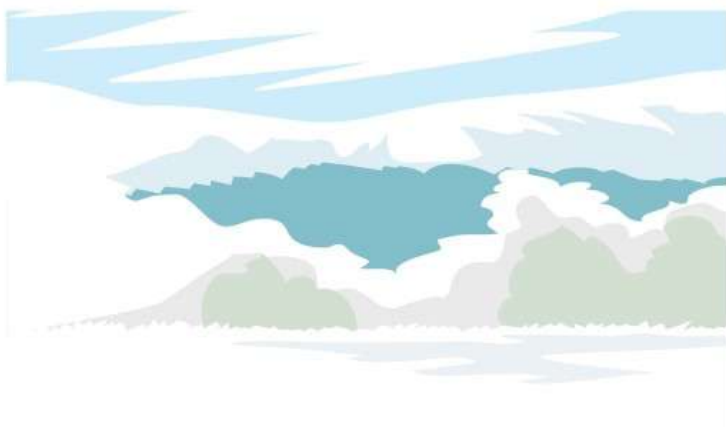
二つ目は、生徒会役員選挙です。いよいよこの学年が学校の先頭に立って活動する時期になりました。九人の生徒が生徒会役員に立候補し、全

員が全校生徒から信任され、新しい生徒会をスタートさせました。立会演説会では、それぞれの候補者がしっかりとしたビジョンを持って公約を発表し、それに他の生徒は真剣に耳を傾けていました。役員だけでなく、学年生徒全員が全校生徒をけん引し、活気のある素晴らしい学校にしてくれることを期待しています。

最後に進路の取り組みです。八月二十八日に第二回スタディサポートを実施し、進路指導の一助としています。中間・期末の定期考査の前には、放課後学習会を開催しました。多くの生徒が参加をし、しっかりと準備をしたうえで考査に臨んでいました。また、これからほとんどの生徒が関わってくることになる小論文の対策も行っています。3学期は「三年0学期」といわれ、いよいよ進路に向けての活動が本格化してきます。目の前のこととしてしっかり認識させ、取り組ませたいと考えて

おります。

三学期は延期になった修学旅行が、方面を東北に変更して実施されます。それに向けた取り組みも始まっています。予断を許さない状況ではありますが、安全にかつ楽しいものになるようしっかりと準備をして臨みたいと考えておりますので、ご協力のほどお願いいたします。



一学期を振り返って

第三学年主任 佐藤 昌 宏

三年生の夏休みは、夏期特

進講座から始まりました。八月一九日まで約一五名の生徒が参加し受験勉強に取り組みました。また、例年行われていたサマーゼミにも希望者が参加しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、オープンキャンサスの参加もままならず、リモートでの参加など県外の学校を志望している生徒にとってはキャンパスや、学校の雰囲気を知ることができず、もどかしい夏休みとなりました。しかし、進路の準備は計画通りに行いました。就職希望者は夏休みに出願準備を終え、就職試験に臨みました。現在希望者全員が採用内定をいただいております。

す。

学習面での学年の取り組みは、令和四年度大学入学共通テスト説明会から出願まで滞りなく行い、現在は受験票が届くのを待っています。その大学入学共通テストに向けての取り組みといたしましては、九月と十月に大学入学共通テスト模試を行いました。特に十月の模試は新潟産業大学の教室をお借りし、共通テストの本番さながらに行いました。また、二学期中間考査終了後からは、共通テスト対策として、特編授業を実施しています。各教科で共通テスト対策の授業展開となりました。

校推薦型選抜入試もスタートしました。現在、それぞれの入試で難関を突破し、続々と合格の報告が届いています。これからは、一月の大学入学共通テスト、一般入試へと向かいます。進路実現に向けて全力を尽くしてもらいたいと思います。

行事では、九月十日・十一日に「統一祭」が行われました。新型コロナウイルス感染症対策の中での開催でしたが、生徒は準備から当日まで責任を持ってそれぞれの役割を果たしました。

また、柏崎在住の選挙権がある生徒が、県内初の高校での期日前投票を経験しました。マスクミ取材も多数ある中で、生徒は緊張感を持ち投票していました。

高校生活も残りわずかとなりました。学校生活は授業も生活態度も最後まで気を抜かず過ごしてください。私たち

三学年教師一同は、一二四名の進路が全員決まるまでサポートいたします。また、進路が決った生徒は四月からの準備を進めてください。

新型コロナウイルス感染症の状況により卒業式の形式も変わることが考えられますが、生徒全員が三月一日の卒業式を笑顔で迎えられるように、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



一学期を振り返って

生徒指導部

小林 要

この夏は東京オリンピック・パラリンピックの開催で日本選手の活躍や笑顔に多くの感動を与えてもらいました。その反面、新型コロナウイルス感染症第五波による感染拡大が続き、感染者数は毎日のように過去最高を記録し、収束の目途も経たぬまま二学期がスタートしました。

【九月】部活動が一斉中止となり、この時期に行われる大会は中止や延期となりましたが、「統一祭」に向けては準備を進めていきました。検討を重ね、今年の経験を活かしながら、「時代を塗り替える」コロナ禍にかける想い「の Sloan ガンを掲げ、無事開催することができました。生徒会が中心となり、作品の展示をはじめ、体験型の企画、発表など、バザーを行わな

くても十分満足できる内容となりました。SDGsの活動の一環でユニセフ募金活動も行いました。

九月末には緊急事態宣言が解除され、その後、現在に至るまで感染者数が急速に減少しています。詳しい要因は分かりませんが、ワクチン接種が進んでいることなどが分析されています。学校では今後メリハリをつけて制限や対策を続けていき、感染防止に努めていきたいと思えます。

【十一月】生徒会の役員選挙が行われ、次期生徒会役員が決まりました。

新生徒会役員は、先輩の姿を見て立候補してきました。学校の新たなリーダーとして、誇れる学校作りのために積極的な生徒会活動、運営を期待しています。

生活指導において、今学期は規則を理解しながらも、見づからなければ…という甘い考えで「無断」「不正」の過ちを犯し、指導されるケースがありました。ニュースや学年集会では様々な情報提供を

しています。得た情報をしっかり受け止め、言動に責任を持ち、自分自身を大切にしながら行動してください。SNS・スマートフォン等の利用の仕方については常に注意を促しています。学校生活アンケートの実施で実態を把握すると共に相談しやすい環境作りでトラブルの早期発見に繋がっています。今後も講習会を実施し、学ぶ機会を設けていきます。

いよいよ各学年の締めめの時期となります。年末年始の移動を含め、コロナ感染防止策の規制緩和の弊害がおこらないよう十分注意してください。体調を崩さないよう、継続して規則正しい生活を送ってください。

進路決定状況について

進路指導部長

松井 公平

平素より皆様からご理解とご支援を賜り、第二学期終業を迎えられましたこと

に心より感謝申し上げます。今年度の卒業予定者一二四名の内、百九名がすでに進路決定しています。内訳は、新潟産業大学、新潟大学など四年制大学が五二名、新潟青陵大学短期大学部など短期大学が五名、上越看護学校など専修学校等が二九名、公務員五名、民間企業就職が一八名となっています。

進学については、総合型選抜や学校推薦型選抜（指定校制を含む）で国立大学をはじめ著名大学に多数合格しています。また、就職については、公務員試験の合格者が例年より多く、有力企業からも内定をいただいています。

来春一月一五・一六日の両日に行われる大学入学共通テスト試験に全員が出席し、特別編成授業を受けながら対策に取り組んでいます。この共通テスト利用入試や一般入試を積極的に受験する生徒が多いのが、今年度の特徴です。

今後受験を迎える生徒一五

名が希望進路を達成できるように、進路指導部と第三学年団が全力で支援してまいります。

進路決定先(十二月十六日現在)

【進学】

- 新潟産業大学(十二) 亜細亜大学 江戸川大学 開志専門職大学 環太平洋大学 神田外語大学 群馬医療福祉大学 神戸国際大学 國學院大学 國士館大学(二) 上武大学 駿河台大学 大東文化大学(二) 中京大学 中部大学 帝京大学(二) 東海大学 東京福祉大学 長岡大学(二) 新潟大学 新潟医療福祉大学(五) 新潟経営大学(三) 新潟工科大学(二) 新潟リハビリテーション大学 日本大学(二) 日本体育大学 東日本国際大学 北陸大学(三)

【短期大学】

- 東京歯科大学短期大学部 新潟青陵大学短期大学部(二) 新潟中央短期大学 明倫短期大学

【専修学校等】

- ESPエンタテイメント東京 看護リハビリ新潟保健医療専門学校(二) 国際外国語観光エプライン専門学校(二) 国際ビューティーモード専門学校(三) 国際ベクトワールド専門学校 上越看護専門学校 上越公務員・情報ビジネス専門学校 長岡公務員・情報ビジネス専門学校 長岡こども福祉カレッジ 長岡崇徳福祉専門学校(四) 新潟国際自動車専門学校 新潟国際自動車専門学校(三) 新潟柔整専門学校(三) 新潟国際理工科専門学校(二) 日本工学院専門学校 北陸食育フードカレッジ 悠久山栄養調理師専門学校 上越テクノスクール

【就職】

- 新潟県警察(二) 自衛官一般曹候補生(二) 柏崎市消防本部 (株)飯塚鉄工所 (株)伊平板金工業所 (株)企画 (株)郷土建設藤村組 (株)コロナ 長岡工場 (株)ピーコック 小国工場 (株)山重 (株)ヤマテック (社)柏崎刈羽福祉事業協会 (社)せい山会 (社)アパグループ(株) 信越化学工業(株)(二) 直江津電子工業(株) 新潟太陽誘電(株) 藤村クレスト(株) 東日本旅客鉄道(株)

各種検定合格者

◎実用英語技能検定

- 二級 松永 延彦 準二級 芳賀 優太 三級 川口 亜希穂 丸山 紗季

◎日本漢字能力検定

- 二級 高橋 南巳 波照間 栗 小玉 遥那 木村 健人 安藤 芽唯 濱上 夢叶 布施 幸祐 大門 美月 松原 誓哉 山中嶋 悠月 加藤 怜那 滝沢 輝美 川口 亜希穂 栗野 愛子

三級

- 木村 結萌 小暮 真生 近藤 真彩 櫻井 陽生 鈴木 杏奈 竹田 千純 永井 大芽 森山 虎太郎 渡辺 健斗 青木 小夏 天野 琴美 伊藤 嶺 植村 琉花 宇都宮 海空 加藤 優奈 金田 樹里 倉内 夢乃 近藤 絢斗 関根 遥 深澤 空雅 三本 愛日果 村山 優斗 目黒 宝

三級

- 山崎 彩乃 渡邊 空我 渡邊 風我 福田 瑞輝 佐藤 桃花 山本 一颯 片山 響生 倉島 実生 黒崎 和奏 福原 夢葉 川瀬 心太 反町 幹太 服部 由麻 和田 咲穂 野村 美翔 山崎 茉凜

◎実用数学技能検定

- 準二級 布施 偉琉

三学期の予定

1月

- 7日(金)始業式 15日(土)・16日(日) 大学共通テスト 21日(金)全校一斉実用 英語技能検定受験 20日(木)・24日(月) 学年末考査(三年)

2月

- 1日(火)・4日(金) 修学旅行(二年生) 1日(火)・2日(水) ウィンタースポーツ スクール(二年) 15日(火)卒業前講演会(三年) 17日(木)・22日(火) 学年末考査(二年) 28日(月)卒業証書授与式 リハール

3月

- 1日(火) 第62回卒業証書 授与式 18日(金)終業式 23日(火)・31日(木) 春季特進講座

